

▶主要諸元 (型式：7120G-2)

項目		仕様	クローラクレーン	ラフティングタワー
最大つり上げ能力		t×m	120×5.0	20×15.0
ブーム(タワー)長さ		m	15.2~61.0 61.0~79.2(ロング)	30.4~51.7
ジブ(タワージブ)長さ		m	12.2~30.5	22.9~44.2
最大ブーム(タワー)+ジブ(タワージブ)長さ		m	61.0+30.5	51.7+44.2
ロープ速度	主巻	巻上・巻下 m/min	120~3	
	補巻	巻上・巻下 m/min	120~3	-
	タワージブ起伏	巻上・巻下 m/min	-	60~3
	サード(オプション)	巻上・巻下 m/min	110~3	-
	ブーム(タワー)起伏	巻上・巻下 m/min	48~2	
旋回速度		min ⁻¹ {rpm}	2.1{2.1}	
走行速度		km/h	1.3/0.9	
作業時質量(基本姿勢)		t	123	133
接地圧(基本姿勢)		kPa{kgf/cm ² }	96{0.96}	104{1.06}
登坂能力(tanθ)		%(度)	30(16.7)	-
定格ラインプル		kN{tf}	118{12.0}	-
エンジン	名称	日野P11C-VN		
	定格出力	kW/min ⁻¹	271/1,850	
ワイヤロープ	主巻	mm	φ26	
	補巻(タワージブ)	mm	φ26	
	ブーム(タワー)	mm	φ20	

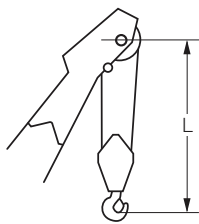
登坂能力は最大登坂時の傾斜角度であり、地盤の状態やクレーンによってはこの数値より低くなります。

各速度は軽負荷の時の値であり、負荷により速度の変動があります。

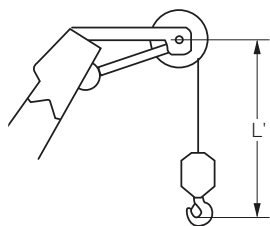
各ロープ速度はドラム1層目での値です。

単位は国際単位系のSI単位で、{|}内は従来表示です。

▶フック巻上限界 (単位:m)



使用フック	L
120 tフック	5.0
70 tフック	5.0
35 tフック	5.0



使用フック	L'
ボールフック	4.2

▶仕様とアタッチメント (クローラクレーン/ラフティングタワー)

アタッチメント		仕様	
		クローラクレーン	ラフティングタワー
4.6m上部ブーム		◎	-
3.0m中間テーパーブーム*1		◎	-
1.4mタワーキャップ		-	◎
7.6m下部ブーム(共用)		◎	
3.0m中間ブーム(ケーブルローラ付・共用)		○	◎
6.1m中間ブーム(ケーブルローラ付・共用)		○	
9.1m中間ブーム(ケーブルローラ付・共用)*2		○	◎
9.1mタワー専用中間ブーム		○兼用可	◎
4.6m上部ジブ		○	-
4.6m下部ジブ		○	-
3.1m中間ジブ		○	-
6.0m中間ジブ		○	-
7.6m上部タワージブ*3		△	◎
6.1m下部タワージブ		-	◎
3.0m中継ジブ*4		△	◎
3.0m中間タワージブ*5		△	◎
6.1m中間タワージブ*5		△	◎
9.1m中間タワージブ*5		△	○
120tフック(5枚シーブ)		◎	-
70tフック(3枚シーブ)		○	-
35tフック(1枚シーブ)		○	◎
ボールフック		○	
補助シーブ		○	-
主巻ワイヤロープ(φ26×275m)		◎	-
補巻ワイヤロープ(φ26×255m)		○	-
ブーム(タワー)起伏ワイヤロープ(φ20×190m)		◎	◎
タワー主巻ワイヤロープ(φ26×290m)		-	◎
タワージブ起伏ワイヤロープ(φ26×145m)		-	◎
タワーブーム起伏ワイヤロープ(φ20×190m)		-	◎

◎印は標準仕様、○印はオプション設定を示します。

△印はロングブームを構成する場合に必要となるアタッチメントを示します。

*1 クローラクレーンの上部ブームまたはロングブームとセットで使用します。

*2 クローラクレーンの中間ブームに転用できます。

*3 ロングブーム仕様では上部ブームとして使用します。

*4 ロングブーム仕様では3.0mテーパーブームと、ラフティングタワーでは下部タワージブとセットで使用します。

*5 ロングブーム仕様で中間ブームとして使用します。